

## 平成 23 年度東部クリーンセンター放射性物質濃度等測定結果

●焼却灰等放射性物質濃度（単位：Bq/kg）

### 第 1 回

採取日	検体	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
平成 23 年 7 月 19 日	主灰※ <sup>1</sup>	不検出	310	330	640
	飛灰※ <sup>2</sup>	不検出	2,600	3,000	5,600
平成 23 年 7 月 25 日	熔融スラグ※ <sup>3</sup>	不検出	66	71	137
	熔融飛灰※ <sup>4</sup>	不検出	3,700	4,200	7,900
	熔融不適用物※ <sup>5</sup>	不検出	76	110	186

### 第 2 回

採取日	検体	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
平成 23 年 8 月 30 日	熔融スラグ※ <sup>3</sup>	不検出	58	69	127
	熔融飛灰※ <sup>4</sup>	不検出	1,100	1,300	2,400
	熔融不適用物※ <sup>5</sup>	不検出	83	110	193

### 第 3 回

採取日	検体	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
平成 23 年 9 月 22 日	熔融スラグ※ <sup>3</sup>	不検出	52	57	109
	熔融飛灰※ <sup>4</sup>	不検出	1,900	2,300	4,200
	熔融不適用物※ <sup>5</sup>	不検出	76	93	169
	排水	不検出	9	11	20

### 第 4 回

採取日	検体	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
平成 23 年 10 月 7 日	主灰※ <sup>1</sup>	不検出	330	400	730
	飛灰※ <sup>2</sup>	不検出	3,100	3,800	6,900
	熔融スラグ※ <sup>3</sup>	不検出	48	59	107
	熔融飛灰※ <sup>4</sup>	不検出	2,000	2,400	4,400
	熔融不適用物※ <sup>5</sup>	不検出	68	86	154
	不燃残渣 (ガラス屑等)	不検出	不検出	不検出	不検出
	排水	不検出	15	18	33

第5回

採取日	検体	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
平成23年11月28日	熔融スラグ <sup>※3</sup>	不検出	27	32	59
	熔融飛灰 <sup>※4</sup>	不検出	1,000	1,300	2,300
	熔融不適物 <sup>※5</sup>	不検出	33	40	73

第6回

採取日	検体	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
平成23年12月19日	熔融スラグ <sup>※3</sup>	不検出	25	29	54
	熔融飛灰 <sup>※4</sup>	不検出	1,100	1,400	2,500
	熔融不適物 <sup>※5</sup>	不検出	32	43	75

第7回

(第7回以降の単位：焼却灰等 Bq/kg、排水 Bq/L、排ガス Bq/m<sup>3</sup>)

採取日	検体		放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
平成24年1月20日	主灰 <sup>※1</sup>		91	120	211
	飛灰 <sup>※2</sup>		830	1,100	1,930
	熔融スラグ <sup>※3</sup>		14	19	33
	熔融飛灰 <sup>※4</sup>		930	1,200	2,130
	熔融不適物 <sup>※5</sup>		23	31	54
	排水		不検出	不検出	不検出
平成24年1月5日	排ガス <sup>※6</sup>	1号焼却炉	不検出	不検出	不検出
平成24年1月13日		2号焼却炉	不検出	不検出	不検出
平成24年1月10日		1号熔融炉	不検出	不検出	不検出

第8回

採取日	検体	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
平成24年2月29日	主灰 <sup>※1</sup>	66	88	154
	飛灰 <sup>※2</sup>	550	770	1,320
	熔融スラグ <sup>※3</sup>	12	15	27
	熔融飛灰 <sup>※4</sup>	690	950	1,640
	熔融不適物 <sup>※5</sup>	16	22	38
	熔融スラグ <sup>※3</sup> の 放射性物質溶出量試験	不検出	不検出	不検出

平成 24 年 2 月 29 日	排水		不検出	不検出	不検出
平成 24 年 2 月 28 日	排ガス <sup>※6</sup>	1 号焼却炉	不検出	不検出	不検出
平成 24 年 2 月 28 日		2 号焼却炉	不検出	不検出	不検出
平成 24 年 2 月 28 日		1 号熔融炉	不検出	不検出	不検出

第 9 回

採取日	検 体	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計	
平成 24 年 3 月 21 日	主灰 <sup>※1</sup>	4 8	6 5	1 1 3	
	飛灰 <sup>※2</sup>	5 8 0	8 2 0	1, 4 0 0	
	熔融スラグ <sup>※3</sup>	1 0	1 4	2 4	
	熔融飛灰 <sup>※4</sup>	6 4 0	9 1 0	1, 5 5 0	
	熔融不適物 <sup>※5</sup>	1 1	1 6	2 7	
	不燃残渣 (ガラス屑等)	不検出	不検出	不検出	
平成 24 年 3 月 21 日	排水		不検出	不検出	不検出
平成 24 年 3 月 22 日	排ガス <sup>※6</sup>	1 号焼却炉	不検出	不検出	不検出
平成 24 年 3 月 22 日		2 号焼却炉	不検出	不検出	不検出
平成 24 年 3 月 21 日		1 号熔融炉	不検出	不検出	不検出

※1 主灰とは、燃やしたごみの燃えがらのことで、焼却炉の底から排出される灰をいう。

※2 飛灰とは、ろ過集じん器などで捕集した排ガスに含まれているダスト (ばいじん) をいう。

※3 熔融スラグとは、焼却灰を高温で溶かし (熔融し)、冷却・固化してできるガラス状の物質をいう。

※4 熔融飛灰とは、焼却灰を高温で溶かす (熔融する) ときに発生し、ろ過集じん器などで捕集した排ガスに含まれているダスト (ばいじん) をいう。

※5 熔融不適物とは、焼却灰に含まれる未燃分 (主に金属類) のことをいう。

※6 2 号熔融炉は稼働しておりません。

●敷地境界空間放射線量 (  $\mu$  S v /時)

マイクロシーベルト

第 1 回

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド <sup>°</sup>
平成 23 年 7 月 19 日	0.10	0.06	0.09	0.07	—

第 2 回 (平成 24 年 1 月)

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド <sup>°</sup>
平成 24 年 1 月 12 日	0.08	0.09	0.10	0.09	0.08
平成 24 年 1 月 19 日	0.09	0.08	0.09	0.09	0.08
平成 24 年 1 月 25 日	0.07	0.08	0.08	0.08	0.08

第3回（平成24年2月）

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成24年2月2日	0.08	0.08	0.10	0.09	0.08
平成24年2月8日	0.08	0.08	0.10	0.09	0.09
平成24年2月16日	0.07	0.08	0.08	0.08	0.09
平成24年2月22日	0.08	0.08	0.09	0.08	0.08
平成24年2月29日	0.07	0.07	0.08	0.07	0.08

第4回（平成24年3月）

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成24年3月7日	0.07	0.08	0.09	0.09	0.08
平成24年3月14日	0.08	0.08	0.09	0.09	0.08
平成24年3月21日	0.07	0.08	0.08	0.08	0.07
平成24年3月28日	0.08	0.08	0.09	0.09	0.08

※第1回は委託業者、第2回以降はクリーンセンター職員が測定を実施。

※第2回以降は1週間に1回の頻度で測定を実施。

※地表面から1mの高さで測定。